

資料提供	
令和4年3月1日	
担当課 (担当者)	新型コロナウイルス感染症対策推進課 (荒金、福田)
電話	0857-26-7764

オミクロン株BA.1.1系統に関する情報について

本日、鳥取県議会2月定例会本会議で知事から発言のありましたオミクロン株BA.1.1系統について、概要は下記のとおりです。

記

1 各系統の差異

BA.1 一般的にオミクロン株と呼ばれる標準的な株。

BA.1.1 BA.1にスパイクたんぱく質にR346Kの変異が加わったもの。感染力や重症化率といった性質は不明。(BA.1に比べて感染力が強いとの報告もある。)

BA.2 いわゆる「ステルスオミクロン」と呼ばれる株。オミクロン株に特有とされていた遺伝子配列の欠損がないなど、BA.1に対して多くの変異を持っている。BA.1に比べて感染力が強いといわれている。

※全世界では、上記以外にも異なる系統のオミクロン株が確認されている。

2 県内におけるオミクロン株のゲノム解析状況

- 県内でゲノム解析を行ったオミクロン株感染例は、1件を除きすべてBA.1.1であった。

BA.2は確認されていない。

(92件解析済(1月から2月上旬確認分)、BA.1:1件、BA.1.1:87件、デルタ株:4件)

- BA.1株は1月上旬に陽性が判明した1例(関東への移動歴あり)で検出。その他は県内初発例も含めてすべてBA.1.1を検出しており、県内の第6波の流行株は当初からBA.1.1が大半を占めているものと推察される。
- 全国的な流行状況の詳細は不明。